

養護	<p>【生命・情緒】 入園当初、慣れない環境に泣くことで気持ちを表現していた子どもたちも、今では泣かずに登園できるようになりました。成長過程において信頼関係は必要で、園の生活にまずなれること、そして、規則正しい生活リズムに近づくことを目標に園でも個々に合わせてきました。親元を離れての園生活に不安や寂しさで泣く姿が多かった子どもたちですが、保育士がスキンシップを十分にとり関わるなかで、信頼・愛情関係が築け安心して甘えたり、感情豊かに表現するようになり、人とかかわる喜びや楽しさを味わっています。</p>
教育	<p>【伸び伸び育つ・気持ちが通じ合う・関り・感性】 保育者の元で一人遊びをしていた子どもたちも、好奇心が強くなると探索行動も盛んになり、視野や行動範囲が広がってきました。初めは、お散歩や園庭遊びでも大泣きで、景色を楽しむどころではなかったのですが、戸外で水・砂・土・草花などの自然物に触れたり経験することで、全身運動や探索遊びを楽しむようになりました。 聞く・見つめる・しゃぶる・掴む・振る・引っ張る・たたく・押す・投げるなどの感覚的、運動的な遊びを通して、自分から関わっていき関心が広がり成長を感じました。 安全で活動しやすい環境で寝返り、腹ばい、はいはい、つかまり立ち、伝い歩き、自立歩行など個々に発達も見られました。</p>
食育	<p>一人ひとりの月齢に合わせて家庭での様子を聞いたり、栄養士の先生と相談しながら、離乳食・幼児食を進めてきました。 手づかみ食べや、スプーンやフォークを持って自分で食べることを大切にしてきました。また、好き嫌いが出てきて思うように食事が進まない日もありますが、苦手なもの、嫌いなものを食べられたときは、たくさん誉めておいしさを伝えるようにしてきました。食事が進まない日もありますが、量を調節したり、工夫しながら励まして進めています。</p>
その他	<p>今年はコロナの関係でふれあい会が中止となりましたが、普段の生活を DVD にすることで園での子供たちの生活する姿をお届けすることができました。1 2 月の発表会では、たくさんの人前で緊張したり泣いていましたが、日頃の遊びの中に音楽遊びを取り入れてきたおかげで、かわいい姿をお見せすることができたかなと思います。 最近では、1 歳児の真似をすることが多くなり、遊んだ後の片づけもできるようになってきました。外に出かける準備では、帽子・上着を進んで取りに行き、中には、友だちの分も持ってくるお世話好きな姿もあります。 この 1 年で大きく成長した子どもたち、保護者の方々とともに喜びを感じることができ嬉しく思います。0 歳児クラスとしての生活も残りわずかとなりましたが、楽しい思い出作りをしていきたいと思います。 1 年間、ご理解・ご協力ありがとうございました。</p>